

# 放課後等デイサービス自己評価表（職員）（2025年度）職員

## ～ 結果への対応等 ～

職員 10名

		チェック項目	はい	いいえ	わからない
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	9	1	0
	2	職員の配置数は適切であるか	9	0	1
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	8	2	0
(結果への対応等)					
1 基準は満たしていることを職員間で再周知する。					
3 一部の駐車場で坂があり車椅子の乗降に不便な所がある。課題として対策を検討していきたい。					
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	7	1	2
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	10	0	0
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	9	0	1
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	第三者評価は未実施		
	8	職員の資質の向上を行う為に、研修の機会を確保しているか	10	0	0
(結果への対応等)					
4 広く職員が参画し業務改善を進められる仕組みを検討していく。					
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	9	0	1
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7	1	2
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	9	1	0
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	10	0	0
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	8	0	2

	14	子どもの状況に応じて、個別活動を中心とした放課後等デイサービス計画を作成しているか	10	0	0
	15	支援開始前には、職員間で打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	10	0	0
(結果への対応等) 10 事業所内で標準化されたアセスメントツール(適応行動評価、階層など)を使用し計画の作成や評価を実施している。そのことについて共有する。11 児童発達支援責任者が立案した活動プログラムの原本を基にチームカンファレンスを実施し、内容を改善している。カンファレンスに参加できない職員にも書面で共有し、意見を募るようにしている。					
適切な支援の提供	16	支援終了後には、職員間で打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	8	0	2
	17	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	10	0	0
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	8	0	2
	19	ガイドライン総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	8	0	2
(結果への対応等) 特記事項なし					
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	8	0	2
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	10	0	0
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	9	0	1
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所との間で情報共有と相互理解に努めているか	9	0	1
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	8	0	2
	25	他児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	7	0	3

	26	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	6	1	3
	27	日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	10	0	0
	28	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援を行っているか	6	2	2
<p>(結果への対応等) 26 自立支援協議会に参加する機会はないが、浜松市障がい児放課後支援連絡協議会の会議や研修には代表者が参加している。今後、複数の職員が研修に参加できる機会を設けていく。また、協議している内容の伝達方法を改善する。28 保護者への支援は必要時に実施している。実施内容の共有方法を改善する。</p>					
保護者への説明責任等	29	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	9	0	1
	30	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8	0	2
	31	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	10	0	0
	32	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	10	0	0
	33	個人情報に十分注意しているか	10	0	0
	34	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	10	0	0
	35	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	9	0	1
<p>(結果への対応等) 特記事項なし</p>					
非常時等の対応	36	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	10	0	0
	37	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	10	0	0
	38	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	10	0	0
	39	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	10	0	0

	40	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がなされているか	10	0	0
	41	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	8	1	1
<p>(結果への対応等) 41 事故の IA レポートを回覧し再発防止に努めている。また、ヒヤリハット事例は記録に残して事業所内で共有し未然に事故を防ぐことができている。</p>					

(結果への対応等)

当事業所での経験年数が浅い職員に「わからない」の記載が多くみられた。

今後、事業内容の詳細や実施方法について伝達周知できる機会を設けていく。